

「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会期間中の
交通量の抑制・平準化等に向けた実証事業」について

2021年1月22日

日本通運株式会社 通運部
工藤 辰徳



We Find the Way



1. 「コンテナ仮置場（臨時通運デポ）の活用」 実証事業について

弊社は、都内主要幹線道路の日中の交通量の抑制と、重点取組地区内の車両運用効率の向上を目的として、「コンテナ仮置場（以下：臨時通運デポ）」を活用した実証実験を行いました。

臨時通運デポが通過点となる配達作業について、日中の交通渋滞が予測される「東京貨物ターミナル駅～臨時通運デポ」間を、夜間時間帯に一次輸送し、翌日中時間帯に臨時通運デポから配達（二次輸送）を行うことにより、一定の効果が期待できると考えたからです。

臨時通運デポについては、複数の利用運送事業者の利用を想定し、共同で実証事業を行いました。

※コンテナ仮置場（臨時通運デポ）作業時写真



2-1. 運用イメージと想定効果（実施事業を行わない場合）

BEFORE

列車到着後、貨車からコンテナをトラックに積み替えて着荷主の元へ配達。期間中の交通混雑が増加。主要道路である国道357号線は大規模な渋滞が予想



東京貨物ターミナル駅

東京ベイエリアゾーン
江戸川・市川・浦安方面

想定所要時間						
発地	着地	平常時所要時間(往路)	平常時所要時間(復路)	大会時所要時間(往路)	大会時所要時間(復路)	経路
東京貨物ターミナル駅	江東区新砂	41分	38分	1時間42分	1時間28分	一般道
	市川市塩浜1丁目	51分	32分	2時間7分	2時間14分	首都高
	船橋市西浦2丁目	39分	33分	1時間48分	2時間8分	首都高

※所要時間は「大会開催時の遅延等を考慮した所要時間・経路探索システム」により計算

大会期間中は通常時の倍以上！！

配送能力が2分の1以下！！

2-2. 運用イメージと想定効果（実証事業を行った場合）

AFTER

到着したコンテナを、交通量の少ない夜間にコンテナ仮置場へ中継し、一時保管。翌日日中に集配車に積替え、着荷主の元へ配達。



コンテナ仮置場を新砂に設置した場合の所要時間

発地	着地	平常時所要時間(往路)	平常時所要時間(復路)	大会時所要時間(往路)	大会時所要時間(復路)
江東区新砂	市川市塩浜1丁目	32分	35分	43分	42分一般道
	船橋市西浦2丁目	40分	42分	51分	48分一般道

※所要時間は「大会開催時の遅延等を考慮した所要時間・経路探索システム」により計算

大幅な時間短縮！！ 国道357号線の車両抑制効果

通常と変わらない配送能力！！

3. 実証事業の実施内容

■実施期間 : 2020年9月5日（土）から12日（土）
※配達作業は9月8日（火）から11日の4日間

■運営企業

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| ・ 日本通運(株) | 代表事業者 |
| ・ 日本貨物鉄道(株) | 共同申請者（東京貨物ターミナル駅における荷役作業ほか） |
| ・ 日本フレートライナー(株) | 共同申請者（東京タから通運デポまでの移送作業ほか） |
| ・ 全国通運連盟 | 協賛 |
| ・ 東京地方通運連盟 | 協賛 |
| ・ 利用運送事業者 | 5社参加 |

■臨時通運デポ概況

- | | |
|-----------|--------------------------|
| ・ 所在地 | 江東区（283坪） |
| ・ 実施コンテナ数 | 12ftコンテナ27個 |
| ・ 運営時間 | 夜間移送（16時～19時）、配達（7時～16時） |

■対象コンテナ：

- | | |
|---------|---------------------------|
| ・ 取扱駅 | 東京貨物ターミナル駅 |
| ・ 配達エリア | 国道357線以東または以北エリア |
| ・ 取扱貨物 | 配達貨物 ※危険品、定温指定等特殊対応貨物は対象外 |

場所 設備

- 江東区周辺で、一時的に利用可能で、運用（保管・積み降ろし）に必要な広さを備えた場所の確保
- 通信設備の有無

顧客の協力

- 通常よりリードタイムが伸びることへの理解

利用運送事業者間の協力

- 同業他社の協力がどこまで得られるか

外観



設備概要

倉庫名称	日本通運株式会社新砂5号倉庫(東京グランポート)
所在地／用途地域	東京都江東区新砂2丁目4番地10号 / 工業専用地域
最寄駅	・JR京葉線「潮見」駅 徒歩12分 ・JR京葉線「新木場」駅 都バス東陽町行き「新砂一丁目」下車 ・東京メトロ東西線「東陽町」駅より都バス新木場循環で新砂一丁目」下車
建物	鉄骨鉄筋コンクリート造(2009年竣工 耐震構造) 地上5階建て
建設面積	3,619.20㎡(1,094.12坪)
延床面積	15,614.40㎡(4,720.41坪)
設備等	○床荷重 1.5t/㎡ ○貨物用エレベーター 4基 (最大積載量:3.5トン/基) ○天井高 5.5m ○1階高床ホーム式 ○一部倉庫内空調設備あり(置き型空調)

4 - 1. 場所・設備



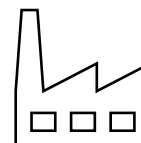
4 - 2. 顧客の協力

通常

【東京タ】

配達(参加通運)

【配達先】



コンテナ到着後、配送車にて着顧客に配達

実証事業

【東京タ】

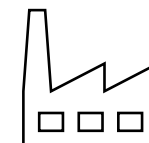
夜間移送

【通運デポ】 江東区新砂

【配達先】



配達(参加通運)



到着コンテナを交通量の少ない夜間に移送

デポで一時保管

配達車に積替、着顧客に配達

リードタイムが+1日となる為、お客様のご理解とご協力が必要

実施体制

- 参加利用運送事業者（5社）の責任者から担当者まで定めることにより実施作業の浸透を図る

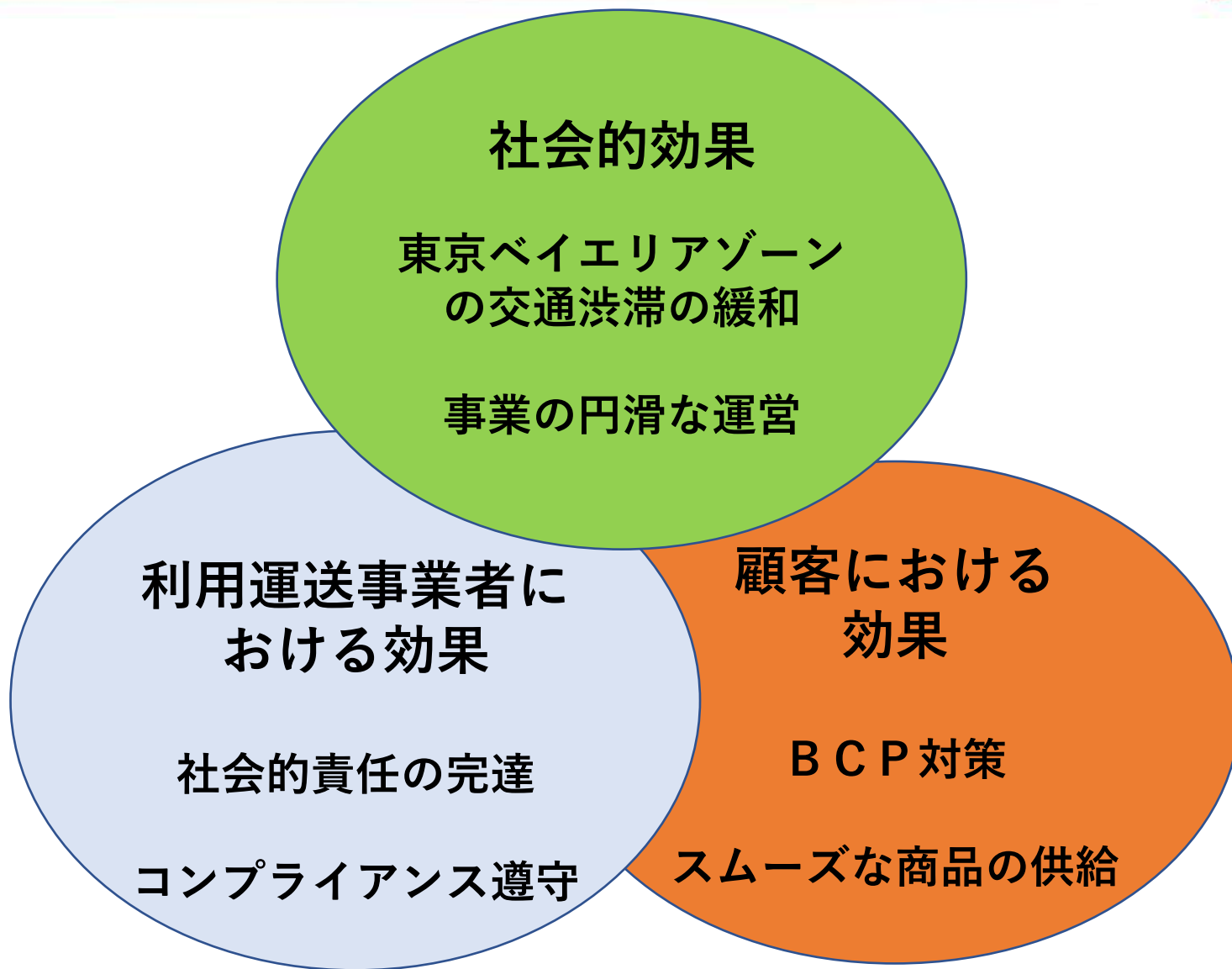
意思疎通を図る為に

- フロー図を基に、責任者・担当者別打ち合わせ実施

目的意識の共有

- 実証事業を行う目的と効果を共有することにより、本事業の重要性について認識を共有

5. 「コンテナ仮置場（臨時通運デポ）の活用」のメリット



他イベントによる大規模交通規制にも活用可能！

We Find the Way

